

2020年度研修プログラム（ラダーⅠ）・新採用者

- 【教育理念】 1.患者・家族の人権を尊重し、倫理的配慮ができる態度を育成する
2.看護を科学的に捉える視点を持ち、看護実践に活かせる

- 【教育目標】 1.患者・家族の人権を尊重し、倫理的配慮ができる態度を育成する
2.看護を科学的に捉える視点を持ち、看護実践に役立てることができる看護師を育成する
・専門的知識と看護の技術に優れた看護師の育成
・根拠ある看護が実践できる看護師の育成
・患者及び家族の安全と安楽を確保し、質の高い看護が提供できる看護師の育成

- 【教育目的】 1.専門職業人 3.向上心を持ち自己研鑽できる人材育成する
2.科学的根拠に基づいた看護実践能力を育成する
3.向上心を持ち自己研鑽できる人材育成する
3.チームの中でよりよい人間関係の確立ができ、他職種医療を推進できる看護師を育成する
4.自己研鑽を積み重ねることで成長・成熟し、看護に魅力を感じることができる看護師を育成する
5.臨床研究を推進し、質の高い看護を社会に情報発信できる看護師を育成する

研修内容(担当:新美師長・横山副師長)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
到達目標	看護実践に必要な基本的能力を習得する 集合研修と現場教育を受けながら基本的な看護技術能力の習得に努める 社会人としての基本的姿勢を身につける											
行動目標	1.職場の環境に慣れる 2.指導者に適宜報告ができ、わからないことを質問できる 3.1日の看護業務の流れが理解できる 4.日常生活援助技術を実施できる 5.指導のもと患者の基礎情報項目と収集方法が理解できる 6.指導のもと実施した看護を記録できる			1.チームメンバーの一員としての自覚ができる 2.状況に応じて、報告・連絡・相談ができる 3.1日の業務計画を立て、看護ケアを実践できる 4.部署で行う検査などの看護ケアができる 5.実施した看護を記録できる			1.部署の専門性、特殊性を理解できる 2.チームメンバーとしての役割を理解し、メンバーシップを発揮できる 3.受け持ち患者をもつことができる 4.1日の行動計画を立案し、適宜修正や変更を加えながら看護実践ができる					
集合教育 (off-JT)	オリエンテーション(4日間) 病院の組織・理念・看護・教育体制・精神保健・感染・医療安全・モラル・薬剤・精神看護・褥創・看護技術・暴力・救急など 4月14日(火) 13:30～14:30 オレムアンダーウッド理論 (講師:影山副部長) 4月21日(火)13:30～14:30 与薬(手順) (講師:杉山・岡部) 5月11日(月)13:30～14:30 精神保健福祉法(講師:Dr小林) 5月12日(火)13:30～14:15 精神科看護(基礎)・身体拘束(倫理含む) (講師:日比野・軸屋) 14:15～14:30 夜勤心構え研修 リアルティショックとストレスマネジメント(講師:新美) 6月9日(火)13:30～14:30 フィジカルイグザミネーション (講師:横山・藤谷・平野) 6月26日(金)13:30～15:00 MSE (外部講師)			7月7日 13:30～14:30 精神科におけるアセスメント (精神科看護に必要なアセスメントが理解できる) その人らしさが見える看護計画の必要性がわかる (講師:棚瀬・杉山) 8月4日 13:30～14:30 オレムアンダーウッド理論を深める (担当:小林・横山) 9月15日 13:30～14:30 Gw:プロセスレコードを用いた実践の振り返り(講師:新美・棚瀬)			10月13日 13:30～15:30 点滴静脈内注射、筋肉注射 (認定) (講師:新美・横山・深津・杉浦・平野・藤谷) 11月10日 13:30～14:30 多重課題 (演習)(講師:田村・岡部) (多重課題時の自己の傾向を理解し、看護チームの一員としての適切な対応ができる) 12月22日 13:30～14:30 看護実践の振り返り(講師:新美・横山) (行った看護実践の振り返りができる) Gw:リフレクションノートを用いて自己の看護実践の振り返り就職時の目指す看護師像を見返し、1年間の振り返り			1月 ラダー申請 課題レポート テーマ「その人らしさを支える看護とは」 評価表をチェック 2月 まとめ 3月 次年度に向けての目標(役割の確認)		
現場教育 (OJT)	経験録(技術)チェック (マニュアル・看護手順・ビジュアル臨床技術ガイドに基づいて) 病棟オリエンテーション インシデント報告(実際時) 看護記録方法 ＊業務終了後、実地指導者(教育指導者)と業務リフレクションする			複数の患者のマネジメントができる 優先順位を考えて、1日の業務計画、スケジュールを考える ＊スケジュール変更時は指導のもと修正ができる ＊業務終了後、随時日々の指導者と業務リフレクションする ＊夜勤の業務が理解でき、指導を受けながら実践できる			患者に必要な情報が理解でき、収集することができる 複数の患者のマネジメントができる ＊優先順位を考えて、スケジュールを考える ＊スケジュール変更時は指導のもと修正ができる 指導者とともに、看護展開を実践する					
技術項目	看護師の基本姿勢 環境整備:病室環境、ベッドメイキング 食事援助:食事介助 排泄援助:自然排便、排便援助 活動・休息:歩行介助、移動介助、移送、体位交換 清潔・衣生活:寝衣交換など衣生活支援、洗面、口腔ケア 与薬:経口薬、外用薬など 症状・生体機能管理:VS測定、静脈血採血、採尿 感染予防:スタンダードプリコーション 安全の確保:転倒予防、事故予防 救急:BLS、AED			看護師の基本姿勢 食事援助:経管栄養 排泄援助:自然排便、排便援助、洗腸 活動・休息:体位交換、体動、移動に注意が必要な患者の援助 清潔・衣生活:おむつ交換、陰部ケア、入浴介助 与薬:皮下注射、筋肉注射、静脈内注射、点滴静脈内注射 症状・生体機能管理:血糖測定、パルスオキシメーター、心電図(12誘導) 苦痛の緩和・安楽の確保:安楽な体位の保持 救急:意識レベルの確認、チームメンバーの応援要請			食事援助:食生活支援 排泄援助:排便、導尿、膀胱留置カテーテル 活動・休息:入眠、睡眠援助 与薬:中心静脈内注射、輸血、インシュリン、劇薬、抗生剤の管理 輸液:シリンジポンプ 救急:ACLS					
評価方法 面談	7月3日までに提出 到達度評価チェック ＊夜勤評価表			10月3日までに提出 到達度評価チェック ＊夜勤評価表			1月6日までに提出 到達度評価チェック (師長と面談)			3月6日までに提出 到達度最終評価チェック (師長と面談)		
病棟目標	〈 上半期 〉						〈 下半期 〉					
教育指導者 (コメント)												
教育責任者 (指導・支援)												